

平成29年度 女性の農業委員会活動推進シンポジウム

参加報告

【平成30年3月8日（木）東京都・砂防会館】

シンポジウムには、全国から女性の農業委員・農地利用最適化推進委員が一堂に参集し、497名（山形県からは45名）の参加がありました。

今年度は、全国で多数の農業委員会が新体制に移行し、各地で新しい女性の委員が誕生するとともに、全国的に女性の登用比率も向上しました。今後は、優良農地の確保・活用や遊休農地の発生防止・解消、担い手育成・新規参入促進などの「農地利用の最適化」活動はもとより、食育の推進や農業者の良き相談役として、女性ならではの視点を活かした活動をしていくことが期待されています。

シンポジウムでは、初めに（一社）全国農業会議所の二田会長、農林水産省経営局就農女性課の佐藤課長よりご挨拶いただき、今後の女性の活躍についてお話をいただきました。

講演では、京都府立大学生命環境科学研究科講師の中村貴子先生をお招きし、今回の基本テーマでもある「女性が農村で輝くために！今、求められている役割とは？」を中心にお話をお伺いしました。農業を取り巻く現状や女性が活躍している事例について、様々な視点からのお話をいただき、皆さん興味深く聞き入っていました。

その後のパネルディスカッションでは、コーディネーターとして（一社）全国農業会議所の稲垣事務局長代理、パネラーとして五十嵐会長（山形県酒田市農業委員会）、谷口会長（徳島県農業委員会女性協議会）、石堂会長（鹿児島県南種子町農業委員会）の3名、助言者として中村先生（京都府立大学）にご参加いただきました。

基本テーマは「女性の視点を活かして農地利用の最適化に取り組もう」で、各方面でご活躍されているパネラーの事例発表のあと、具体的な活動内容について議論されました。女性の登用促進で苦労された点や、個別訪問で女性ならではの活躍があったことなどご紹介いただき、活動事例として大変参考になるものでした。

最後に今回のシンポジウムのアピール採択を満場一致の拍手で採択し、閉会となりました。アピールの主題は「男女共同参画社会を積極的に推進し、農地利用の最適化に全力で取り組もう！」です。このアピールを基本とし、更なる女性の委員の活躍と組織の活性化を図って参りますので、今後も皆様からのご指導・ご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。



中村先生のご講演の様子



パネルディスカッションの様子